

CIRIUM^{※1} “The On-time Performance Awards 2021” 定時到着率^{※2} 世界 1 位 (LCC カテゴリー) の認定証が授与されました !!

株式会社ソラシドエア(本社:宮崎県宮崎市 代表取締役社長:高橋 宏輔)は、英国の航空データ分析を提供するCIRIUMの“The On-Time Performance Awards 2021”の運航実績^{※3}において、LCCカテゴリーで世界ランキング 1 位の認定を受けました。(2022年1月7日発行のリリース:広報第 21-074 参照)

2月16日(水)、ソラシドエアオペレーションセンター(東京都大田区)にて、英国と東京のリモート中継で授与式が執り行われ、英国の Jeremy Bowen 氏(CEO)より当社代表取締役社長:高橋 宏輔に認定証が授与されましたのでご報告申し上げます。



<認定証授与式の様子①>



<認定証授与式の様子②>

中央:CIRIUM CEO Jeremy Bowen 氏
左:CIRIUM JAPAN&SOUTH KOREA
COUNTRY MANAGER 高坂 美恵子 氏
右:ソラシドエア 代表取締役社長 高橋 宏輔社長

定時到着率「世界 1 位」(LCC カテゴリー) を認定

日本の国内線を運航するソラシドエアの定時到着率は 97.9%で、2021 年の LCC カテゴリーで世界 1 位となりました。ソラシドエアは、非常に機材稼働率の高いオペレーションが評価されました。

*: 当社は、LCC と謳っていませんが、CIRIUM の調査においては、単一機種の運航等で効率的ビジネスモデルを採用している航空会社という広義での LCC カテゴリーに含まれています。

<代表取締役社長:高橋 宏輔 コメント>

この度、世界的に権威のある機関より世界 1 位の認定を受け、認定証を授与いただきました。社員一同大変喜ばしく光栄に感じております。お客さまならびに関係各所の皆さまの定時運航へのご理解・ご協力あってこそその結果と受け止めており、改めて心より感謝申し上げます。

公共交通機関を担う企業として「プロ意識」を高め、これからも安全・安心、そして“お客さまの時間を大切に”守っていこうと、社内の士気も更に高まっております。

移動の自粛制限等で航空業界も大変厳しい状況が続いておりますが、より一層の定時運航・品質向上を目指し、一人でも多くのお客さまの「笑顔」にお会いできるよう、社員一丸となって取り組んでまいります。皆さまのご搭乗をお待ち申し上げますと共に、引き続き定時運航へのご理解・ご協力をお願い申し上げます。



※1 CIRIUM (<https://www.cirium.com/jp/>)

CIRIUM は、航空データの取り扱いと分析を行う企業であり、業界で最も正確かつ包括的なデータセットを提供して、航空業界のデジタル化に貢献しています。世界の航空会社のリアルタイムな運航情報、時刻表、機材情報、航空機鑑定評価のデータ分析を提供し、海外メディアなどでも広く紹介、引用されています。The On-time Performance Awards は 2009 年より毎年、1 月から 12 月までの優れた運航実績に基づき、航空会社と空港を表彰しています。



※2 CIRIUM の基準で「定刻に対して遅延 15 分未満に到着した便の全体に占める比率」を示す。

※3 新型コロナウイルスの影響を受けた旅客減少が考慮され、2021 年の The On-time Performance Awards は 6 月から 12 月までの運航実績に基づき表彰されました。

ソラシドエアは本社を宮崎県宮崎市に構え、「九州・沖縄の翼」として、羽田・沖縄と九州を結ぶ路線を展開しています。ボーイング 737-800 型機を揃え(14 機保有)、毎日 14 路線 78 便を運航しています。